

ニュースレター第2号 (2023年3月)

第1回ワークショップ「牧草生育評価に関する情報集ツール」の開催



コロンビア国：デジタルプラットフォームを活用したルーメン微生物フローラ
と草地管理の最適化による牛肉バリューチェーン創出プロジェクト



NAGOYA
UNIVERSITY



AGROSAVIA
Corporación colombiana de Investigación agropecuaria



3月9日、
SATREPS 牛
肉プロジェ
クトの第1
回ワークシ
ョップ「牧

草生育評価に関する情報収集ツール」がコロンビア
農業・牧畜研究公社 (AGROSAVIA) トゥリパナ研
究センターで実施されました。



今回のワークシ
ョップでは、
AGROSAVIA の
研究者らにより
協力研究機関で

あるコロンビア畜産連盟 (FEDEGAN) の技術者に
対し、土壌の水分量・温度・電気伝導度 (EC) の特
性やウシの飼料となる牧草 (主な草種 : Mombasa、
Angletón、Braquipara) の採取、そしてドローン
を使った空撮
画等の様々な
情報収集ツ
ールや手法が共
有されまし
た。



プロジェクト概要は、こちらの QR 字コードから



また、成果3
(牛肉生産を支
える草地 AI 管
理・牧草生産技
術が開発され
る) の活動に關

連して、牧草生産予測モデルの構築や品質・バイオマス
に使用される植生指数を決定するために処理された画像
の解析についても紹介されました。AGROSAVIA トウ
リパナ研究センターの圃場では、これらサンプリング抽
出作業が開始されており、引き続き協力研究機関の技術
者の支援を得ながら、ワークショップで学んだ知見が実
際の現場で実施されることが期待されています。



SATREPS プロジェクト 業務調整員 植野 洋一

JICA コロンビア支所 Facebook



Follow us